

ETP-G 工法

ETP-G 工法は、財団法人日本建築総合試験所発行の「建築技術性能証明書」(GBRC 性能証明 第 09-19 号) 取得工法です。地上 3 階以下、建物高さ 13m 以下、軒高 9m 以下の小規模建築物を対象とした杭状地盤補強として使用する回転貫入鋼管杭工法です。適用地盤は下記の通り。

杭の先端地盤：砂質地盤（礫質地盤を含む）及び粘性土地盤

杭の周囲地盤：砂質地盤及び粘性土地盤

スウェーデン式サウンディング試験 (SWS 試験)、又は、ラムサウンディング試験 (RAM 試験) の結果に基づいた設計を行い、施工・品質管理は ETP-G 工法施工基準に基づき行います。

地盤調査方法

スウェーデン式サウンディング試験



ラムサウンディング試験



ETP-G の最大の特徴
先端翼がシンプルで
貫入しやすい！



最大施工深さ
施工地盤面から軸部径の
130 倍。但し、SWS 試験結果
にて施工する場合は施工地
盤面より 15m とする。

地盤から決まる長期許容先端支持力

杭径	翼径		長期先端支持力 (kN)	
			N 値 10	N 値 15
89.1	2.5D	223	18	27
	3.0D	267	26	39
101.6	2.5D	254	23	35
	3.0D	305	34	51
114.3	2.0D	229	19	28
	2.5D	286	29	44
	3.0D	343	42	64
139.8	2.0D	280	28	43
	2.5D	350	44	67
	3.0D	419	64	96
165.2	2.0D	330	40	60
	2.5D	413	62	93
	3.0D	496	90	135
190.7	2.0D	381	53	79
	2.5D	477	83	125
	3.0D	572	119	179

支持力係数一覧

	支持力係数	適用範囲	地盤調査
α SW	140	$4 \leq \bar{N}' \leq 15$	SWS 試験
		$10 \leq \bar{N}' \leq 25 (2.0, 2.5D)$	RAM 試験
		$10 \leq \bar{N}' \leq 15 (3.0D)$	
β SW	2.0	$2 \leq \bar{N}'_s \leq 15$	SWS 試験
γ SW	3.8	$2 \leq \bar{N}'_c \leq 15$	RAM 試験

ETP-G 工法施工管理技術委員会

株式会社 コクエイ

岡山市南区浦安南町 16-5 TEL(086)264-5821

ジオテック 株式会社

東京都新宿区下落合 2-3-18 SKビル TEL(03)5988-0711